

令和5年度 学生満足度調査分析報告書

1. 調査概要

- Web アンケート方式 (Forms アンケート)
- FD 委員会にて集計/分析
- 集計結果を大学ホームページ (在学生のページ) にて公表予定
- ・実施期間 令和6年1月9日(火)～1月22日(月) ゼミの時間に実施

表1 令和5年度 回答状況

在籍者数※	回答者数	回答率	R4 回答率	R3 回答率	R2 回答率
1,196	642	53.7%	57.8%	54.5%	63.5%

※ 在籍者数 (休学者を除く) は、令和5年12月21日時点のデータ

2. 調査結果と分析

(1)学生満足度の概要 (大変満足 10-0 大変不満までの 11 段階)

次の設問について、学科別・学年別の集計結果を表2にまとめた。

1. 本学に入学したことの満足度
2. 次の各項目についての満足度
 - A 授業について
 - B ゼミナール
 - C 施設・設備について
 - D 教員について
 - E 事務職員について
 - F 友人との出会いについて

表2 各項目の満足度平均

	学年	回答数	入学	【A】授業	【B】ゼミ	【C】施設・設備	【D】教員	【E】事務職員	【F】友人との出会い
無所属	1年	187	6.3	6.3	7.0	6.0	6.7	7.3	7.2
経済学科	2年	80	5.9	5.9	6.8	5.3	6.2	6.4	6.9
	3年	96	5.9	6.0	7.3	5.6	6.2	6.5	6.8
	4年	80	7.1	7.0	8.1	6.7	7.3	7.6	6.9
	小計	256	6.3	6.3	7.4	5.8	6.6	6.8	6.9
経営学科	2年	77	5.8	5.7	7.2	5.3	6.1	6.7	6.6
	3年	73	6.0	5.9	7.6	5.4	6.5	7.0	6.6
	4年	49	7.2	7.2	8.3	6.9	7.3	7.7	6.9
	小計	199	6.2	6.1	7.6	5.7	6.6	7.1	6.7
経済学部	合計	642	6.3	6.2	7.4	5.9	6.6	7.0	6.9

表2より、経済学部全体では、「本学に入学したこと」、「【A】授業」、「【C】施設・設備」の学生満足度が他の項目よりやや低いことがわかる。

また、学年が高いほど、「本学に入学したこと」、「【A】授業」、「【B】ゼミナール」についての学生満足度(平均)が高い傾向が見られる。特に「【B】ゼミナール」については、低学年(1・2年次生)より高学年(3・4年次生)の方が満足度が高い傾向が見られる。

このような特徴は学科に関係なく見受けられ、前年度(令和4年度)にもみられたものである。

(2)回帰分析

表3は、「本学入学による満足度」について、他の項目の満足度(授業、ゼミナール、施設設備、教員、事務職員、友人との出会い)による回帰分析の結果をまとめたものである。

表3 「本学入学による満足度」についての重回帰

変数	係数	標準誤差	t値	P値	信頼区間上限	信頼区間下限
(Intercept)	-0.158	0.168	-0.942	0.347	0.171	-0.487
【A】授業の満足度	0.661	0.035	19.160	0.000	0.729	0.594
【B】ゼミの満足度	0.039	0.026	1.509	0.132	0.089	-0.012
【C】施設・設備の満足度	0.126	0.023	5.416	0.000	0.172	0.080
【D】教員の満足度	0.002	0.039	0.062	0.951	0.078	-0.074
【E】事務職員の満足度	0.100	0.029	3.489	0.001	0.157	0.044
【F】友人との出会いの満足度	0.081	0.020	3.979	0.000	0.122	0.041

本学入学による満足度は、特に「【A】授業」の満足度が強く影響しているとみられる。これは前年度(令和4年度)にもみられた特徴である。本学では「【A】授業の満足度」を改善することで、本学入学による満足度を高められる可能性がある。

(3)経年比較

表4は経年の回答率と各項目の満足度平均の推移を表している。ここ数年、学生満足度に大きな構造変化はないように見受けられる。

表4

	R5	R4	R3
回答率	53.7%	57.8%	54.5%
入学	6.3	6.2	6.3
【A】授業	6.2	6.2	6.3
【B】ゼミ	7.4	7.3	7.4
【C】施設・設備	5.9	6.0	6.0
【D】教員	6.6	6.5	6.5
【E】事務職員	7.0	7.0	6.9
【F】友人との出会い	6.9	6.8	6.9

3. 考察

学生満足度の要因を探るため、本調査の「設問2.より良い学校にするため何か提案があれば、項目を選び回答してください」について、各項目の選択数をまとめた（表5）。

表5 より良い学校にするための提案の回答数

提案項目	1年	2年	3年	4年	計
① 授業関連	14	10	12	6	42
② ゼミナール関連	5	5	0	3	13
③ 施設・設備関連	37	39	31	19	126
④ 教員	0	1	2	2	5
⑤ 事務職員	0	1	1	0	2
⑥ 友人との出会い	6	8	8	7	29
⑦ その他	2	7	6	2	17

表5によれば、学生からの提案として最も回答数が多かったのは「施設・設備関連」（回答数126）、次いで「授業関連」（回答数42）である。令和4年度調査では、「施設・設備関連」の回答数108、「授業関連」の回答数35であったので、提案数は増加していることになる。

- 「授業関連」の提案：科目新設の要望（より上級の内容を学びたい、語学を学ぶ機会を増やしてほしい等）やオンライン授業の要望など
- 「施設・設備関連」の提案：教室・校舎の整備、食堂・売店の改善、ネットワーク環境の改善など

上記2の分析で見たように、本学入学の満足度に強く影響するのは「授業関連」の満足度であるため、学生たちが本学に入学したことについてより満足するためには、「授業関連」の要望について十分に検討の上で対応をとることが必要である。

また、「施設・設備関連」については、毎年多くの要望が出されており、継続して設備等の改善をおこなっていくことが求められる。

以上